

□胃切除術を受けた患者の術後の体重の推移に影響を与える要因

～特に栄養指導の実施状況との関係について

研究課題名	KKR 病院における胃切除術を受けた患者の術後の体重の推移に影響を与える要因 ～特に栄養指導の実施状況との関係について
研究期間	2016年4月～2018年3月
研究対象	KKR 病院で本調査に同意を得られた施設で、胃がんの手術を受けた患者を対象とする
研究の目的・方法	<p>近年、内視鏡治療技術の進歩により、早期胃がんに対しては内視鏡治療の適応が拡大しているが、胃がん症例の多くは胃切除が必要である。胃切除は大腸切除と比較して、切除後障害が経口摂取に与える影響が大きく、ほぼすべての患者で術後体重減少が生じる。</p> <p>そこで、経口摂取の改善に向け、管理栄養士による栄養指導実施の状況が体重減少等、胃切除後患者の栄養状態に影響を与えているかを調査するため本研究を実施したい。</p> <p>調査用紙を協力施設に配布し、施設内の管理栄養士中心に調査記述する。</p>
研究に用いる試料・情報	調査項目：性別、年齢、癌ステージ、手術術式、化学療法併用の有無、退院時摂取エネルギー、入院栄養指導の有無・回数、外来継続指導の有無・回数、ONS 併用有無、身長、体重、BMI、ALB
研究責任者・担当者	栄養管理室室長 田崎亮子